

港まちづくり協議会ニュース

第6号（発行日 平成19年5月16日）

港まちづくり協議会では、ポートピア名古屋設置に伴い名古屋市に交付される「環境整備協力費」を用いたまちづくり事業を住民と行政との協働により検討しています。

3月22日に開催された第6回会議の概要について

<議題>

- 1 港まちづくり協議会の規約改正について
- 2 専門委員の委嘱
- 3 港まち活性化事業補助金の交付申請について
- 4 事務局運営に関する業者選定について
- 5 夏のイベント業者選定委員会について
- 6 その他

<主な議事>

- 1 港まちづくり協議会の規約改正について
了承されました。

- 2 専門委員の委嘱

愛知工業大学教授の曾田忠宏さんと名古屋女子大学非常勤講師の石田富男さんに委嘱することとしました。

- 3 港まち活性化事業補助金の交付申請について

第5回協議会で検討した「平成19年度港まちづくり協議会事業計画書案」を元に申請することとしました。その中で出た主な意見等は次の通りです。

港まちの魅力づくり・にぎわいづくり事業の4つの項目に内訳はあるか。支出の段階で流用はできるのか。

各項目の予算額は決まっている。流用については市民経済局が定めることになっている。流用の幅は1～2割の幅としたい。

流用の幅は1～2割というのは事業間か、それとも港まちの魅力づくり・にぎわいづくり事業の中の各項目間か。

事業計画に基づいて予算が執行されるので、軽微な変更は認められるが、大きな変更については計画変更の手続きが必要である。予算の趣旨に沿っていれば、多少の変更は可能である。

各項目の内訳についても変動幅は1～2割なのか、特に気にする必要はないのか。各項目を細かくしぼる気はない。

初年度なので少し大きいくくりで考えた方がいいのではないか。

あまりがんじがらめでは融通がきかなくなる。本来はもう少し細かくすべきだが、想定外のことに対応できなくなってしまう。

できるだけ枠をはめない方向でお願いしたい。10～20%の枠が30～40%になるといい。

しばりをかけておかないと全部の項目でオーバーするなど困ったことになる。全体の中で調整する必要がある。

監査もあるので、適切な費目で使わないといけない。

使途については公明正大にしていきたい。

4 事務局運営に関する業者選定について

(1) 協議会事務所

事務局において4候補地を選定し、協議会委員が最適な場所を決定する。

(2) 協議会事務所の備品等

リース会社5社に見積りを依頼し、見積り競争で決定する。

(3) 事務局派遣職員

人材派遣会社5社に見積りを依頼し、見積り競争で決定する。

(4) 税理士

5税理士に見積りを依頼し、見積り競争で決定する。

(5) 公認会計士

名古屋市外郭団体経営評価委員会座長、名古屋港管理組合行政評価委員の実績を持つ、行政にも明るい「中澤政直」氏に依頼する。

(6) ホームページの製作

ホームページの製作ができる5社に見積もりを依頼し、見積り競争で決定する。

(1)～(6)の通りに決定しました。その中で出た主な意見等は次の通りです。

ホームページ作成の見積り依頼について、事前に仕様書をみせてほしい。

稲荷公園特定愛護会のホームページを作成中である。カルシウムカンパニーに参加している学生に無料でやってもらっているが、トップページが非常に魅力的である。

楽しそうなトップページにしたい。地域、学生など協力してもらえる人といっしょにやりたい。

協議会事務所については耐震構造となっている物件が望ましい。

事務所は金額で選ぶのではないのか。

現在検討している4物件は予算の範囲内である。耐震構造の物件ならばよい。

4月2日にオープンしたい。

おむらいす亭の入っているビルの3階・シンザンホールの4階に2カ所・オレンジネット横のスペースの4件が候補となっている。

オレンジネット横のスペースがいい。

4月2日からだと、オレンジネット横のスペースの内装工事は時間的に難しいのではないかと。

昭和56年6月1日以降が耐震構造であるが、それ以前でも基準をクリアしているものもある。

ホームページ作成の仕様書は石田専門委員に指導をいただき、一番安い業者に決めていくということで、事務局に一任していただきたい。

5 夏のイベント業者選定委員会について

(1) 趣旨

港まちづくり協議会（以下「協議会」という。）における夏のイベントの催事企画を選定するにあたり、その決定を厳正かつ公正に行うため、夏のイベント選定委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(2) 選定委員

専門委員を含む5名

（内訳） 専門委員 2名、協議会委員 3名（会長1、副会長2）

(3) 選定方法

プロポーザル方式

各業者から提案を受け、選定委員が評価し、最高の得点を得た業者と委託契約を締結する。

(4) 選定内容

企画内容力（実効性、斬新性、地域活性化）、経済性、選定委員個人の総合的な評価など

上記のように決定しました。その中で出た主な意見は次の通りです。

業者選定は5名くらいで行うのがちょうどいい。業者からヒアリングを行うのか。ヒアリングの部分については関心のある委員はオブザーバーとして参加してもらってもいいのではないかと。

各社15分くらいを予定している。選考委員以外の委員も入れるよう各社説明者を3名までとしたい。

盆おどりはみなと祭でも行い、この夏のイベントでも行うのか。

みなと祭を1日増やすイメージだ。

盆踊りは地蔵盆のやり方を変えるという案として出されたものだ。港湾会館の駐車場で行うというのは中途半端なのではないかと。

このイベントは地蔵盆のやり方を変えたものではない。夏祭りのイベントとして洋のものと和のものを取り入れようというもの。

盆踊りをやりたいというのは地元の意向か。

年配の人はやりたいのではないかと。どまつり的なものと盆踊りのどちらかといえば盆踊りだろう。

江川線やホールでイベントをやっているなら盆踊りはやらなくてもいいのではないか。

盆踊りだけでなく、阿波踊り連など和のものをもってきたい。和と洋のものをとりいれた祭としたい。何をやるかはこれから決めていく。みなと祭は地元の人を楽しむまつりなので、この祭は他の地域から集まってもらえるものにした。委員会で広告代理店の提案を審査していく。

江川線をみなと祭の1週間後に再び通行止めにするかどうか分からない。祭を確実に実行するためには、空いているところをうまくつかうことも大切である。盆踊りは学区の人だけが楽しむものであまりにぎわいづくりにならない。

みなと祭は人数を制限している。声をかければ踊りたい人は多い。港区全体でみれば、要望はあるのではないか。田畠委員からぜひ声をかけてもらいたい。子どもたちにも声をかけてもらいたい。

みなと祭は参加して楽しむ祭である。この祭は今まで見たことのない祭なので、見る側にまわりたい部分がある。盆踊りを行う時間帯に他のイベントがなければ、踊りに参加する人は集まるが、他のイベントがあるなら集まりにくい。見る側も分散してしまう。同時並行的ではいけない。

プロの目から見て企画してもらおう。

主役は地元の人である。

地元としてみなと祭に全員参加して、翌週にまた祭があるとすると、地元の人に負担がかかる。高齢者が多く、若者は趣味の活動に動く。イベントを広く知らしめていく必要がある。

みなと祭でみなさん疲れていて地元でできないなら、外からもってくればよい。地元の人ががしなくてはならないのは清掃などが。

清掃や警備も業者に依頼する予定である。みなと祭のように午前2時まで清掃をするということはない。

他の地域からの人が楽しんでもらえるものを、地元の人も楽しんでもらえばいい。イベントは6時から9時の予定だ。まず江川線で行う内容を固めていきたい。この祭は地元の人も見ると回って楽しんでもらいたい。踊りに参加したい人は参加すればよい。

地元負担のかからないイベントにしてほしい。

みなと祭の約1か月後に地蔵盆があり大勢が踊りに集まる。西築地は高齢化しているが港区中に声かけをすれば200人くらい集まるのではないか。盆踊りの時は他のイベントは行わないでほしい。

参加希望者を募って行うことが、まつりの成功につながる。みなと祭は動員の面がある。そういう祭が2週つづく大変だ。みなと祭は従来どおり行い、このイベントはノルマをかさない方式がいいのではないか。踊りたい人が踊ればいい。夏のイベントの予算額は、

約2,000万円である。

その額は業者委託以外の経費も含んでいるのか。

港湾会館の借り上げ料などの費用も含んでいる。ある程度予算の枠が決まっていなないと業者も企画書が出せない。夏のイベントが約 2,000 万円、冬のイベントが約 1,000 万円、春のイベントが約 500 万円である。

3 月 27 日に開催された夏のイベント業者選定委員会の結果について

(株)三晃社、(株)新東通信、(株)中央廣告、(株)電広エージェンシー、(株)名鉄エージェンシーの 5 社が参加しました。委員会で各社から提案を聴取し、各委員の採点結果を集計した結果、一番得点の高かった(株)名鉄エージェンシーに決定しました。(株)名鉄エージェンシーは 4 月 1 日に(株)電通名鉄コミュニケーションズに社名が変わりました。)

4 月 1 2 日に行った協議会事務所選定の結果について

港区役所の委員を除く委員で協議した結果、「名港一丁目 14 番 23 号 コーラルまるさんビル 2F」を事務所とすることにしました。

4 月 2 4 日に開催された第 7 回会議の概要について

< 議題 >

- 1 夏のイベントについて
- 2 協議会監事について
- 3 安心安全パトロール等に関する業者選定について
- 4 その他

< 主な議事 >

1 夏のイベントについて

(1) 業者提案に対する今年度方針の確定

まつりの構造

ポートカーニバル(江川線車線上でのみなとパフォーマンス、みなとサンバなど)、ポートライブ(江川線歩道上でのストリートライブ、パフォーマンスなど)、ポートビレッジ(港橋公園でのフードコートなど)の 3 ヶ所としました。

ポートカーニバルの展開

フィナーレは、参加団体数を見極めた上で江川線車線上か港橋公園のどちらにするか決めることとしました。

みなとサンバの構成

リーディングチームを 1 つは招待することとしました。

(2) 今年度のみなとサンバにおける地元参加者へのアプローチ

今年度は開催までに時間がないことから、まずは区内の幼稚園や学校、ブラジル人が多い東海学区などに参加を募ることとしました。

(3) 早急に進めなければならない調整事項

江川線の交通規制について、港警察署へ会長、副会長、港区役所の委員が相談に行くこととしました。また、地元商店街に対する飲食ブース出店アプローチは学区連絡協議会から推薦された委員が行うこととしました。

2 協議会監事について

西築地学区連絡協議会に推薦を依頼することとしました。その中で出た主な意見等は次の通りです。

協議会の委員を含めすべて学区連絡協議会に推薦を依頼することはいかがか。

学区連協や区政と協働で進めていくことは問題ないが、特定の団体との協働は難しい。

3 安心安全パトロール等に関する業者選定について

安心・安全の地域パトロールは「特定非営利活動法人西築地オレンジネット」と随意契約することとしました。また、記念誌の発行は、記念誌の作成ができる5社に見積りを依頼し、見積り競争で決定し、製作にあたっての協力を「夢塾21」に依頼することとしました。その中で出た主な意見等は次の通りです。

写真集は夢塾21と随意契約することはできないか。

できない。

原稿作成料が必要ではないか。

作業量等をはっきりさせなければならないが、仕様書等で対応することはできる。

4 その他

事務局運営に関する業者選定について見積り競争結果と決定した業者を確認しました。その中で出た主な意見等は次の通りです。

事務所備品等はオレンジネットのものを共用することはできないか。

それぞれ独立した団体であるからできない。

<港まちづくり協議会に関するお問い合わせ先>

港まちづくり協議会事務局 港区名港一丁目14番23号 コーラルまるさんビル2F

電話 052-654-8911 FAX 052-654-8912

Eメール minato-machi@view.ocn.ne.jp

上記の事務局に会議資料を設置し、どなたでも閲覧できるようにしています。

港まちづくり協議会の情報はインターネットでも見るができます。

URL <http://www.minato.city.nagoya.jp/oshirase/Boat.htm>